

## 9 周産期医療

### 【現状と課題】

#### (1) 周産期医療をとりまく状況

- 平成 28(2016)年人口動態調査によると、本県の出生数は 44,033 人となっており、近年では平成 22(2010)年以降減少傾向となっています。

低出生体重児の割合は 9.6 となっており、全国を上回る値で推移しています。  
〔219p 図 6-3〕

なお、周産期死亡率は 3.4 となっています。経年的に見て全国とほぼ同等の数値で推移しています。〔15p 図 2-7、表 2-1-6〕

また、平成 26(2014)年医療施設（静態）調査によると、出生 1,000 人あたりの N I C U<sup>18</sup>入院児数は 91.9 人と全国平均 68.6 人よりも高くなっています。

- 母子のメンタルヘルスケアを含めた、妊産婦に対する妊娠期から子育て期までの一貫した支援が求められています。本県では、平成 20(2008)年度から「妊娠期からのケア・サポート事業」を実施し、医療機関、助産所と行政の連携強化に取り組んでいます。

#### (2) 周産期医療の提供体制

##### ① 周産期医療に携わる医師の状況

- 医師・歯科医師・薬剤師調査によると、県内の産科医、産婦人科医及び小児科医の数は増加しています。しかしながら、産科医、産婦人科医のうち分娩に携わる医師の数は限られており、小児科医のうち新生児の医療を担う新生児専門医も平成 28(2016)年で 41 人と限られています。安全に出産できる体制を確保するためには、高い専門性を有する医師の確保が必要です。〔表 3-35〕

#### ◆ 医療施設従事医師数（主たる診療科：産科・産婦人科・小児科）〔表3-35〕

		平成22 (2010)年	平成 24 (2012)年	平成 26 (2014)年	平成 28 (2016)年
産科・ 産婦人科	医師数（福岡県）	426	459	479	488
	人口(*)10万人対（本県）	38.6	42.0	43.5	44.6
	人口(*)10万人対（全国）	39.5	40.9	41.4	42.9
小児科	医師数（福岡県）	773	771	791	813
	小児人口10万人対（本県）	110.7	110.5	113.2	117.0
	小児人口10万人対（全国）	93.1	97.4	101.6	104.9

出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」各年 12 月 31 日現在

(\*)人口は 15 歳～50 歳の女性人口

<sup>18</sup> N I C U：新生児集中治療管理室(Neonatal Intensive Care Unit)の略語で、低出生体重児や仮死・先天性の病気などで集中治療を必要とする新生児を対象に、高度な専門医療を 24 時間体制で提供する部門。

- 産婦人科や小児科は女性医師の割合が高くなっています。継続的に専門医師を確保するためには、男女問わずワークライフバランスを確保できる職場環境の整備等が必要となっています。

## ② 分娩取扱施設の状況

- 県内の分娩取扱施設は減少傾向にあり、分娩を取り扱う病院又は診療所が1箇所しかない二次医療圏があります。〔表 3-36〕 〔表 3-37〕

### ◆ 福岡県の分娩取扱施設（病院・診療所）〔表3-36〕

	平成 20(2008)年	平成 23(2011)年	平成 26(2014)年
分娩を取り扱う病院数	31	32	34
分娩を取り扱う診療所数	99	94	88
計	130	126	122

出典：厚生労働省「医療施設（静態）調査」

### ◆ 二次医療圏別の分娩取扱施設（病院・診療所）〔表3-37〕

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	計
病院	11	1	1	1	0	3	2	1	2	0	2	10	0	34
診療所	24	5	4	7	1	14	3	5	2	1	0	18	4	88
合計	35	6	5	8	1	17	5	6	4	1	2	28	4	122

出典：厚生労働省「医療施設（静態）調査」（平成 26(2014)年）

## ③ 周産期母子医療センターの状況

- 高度な周産期医療に対応する「周産期母子医療センター」は、県内に 12 施設あり、このうち、地域の周産期医療体制の中核となる「総合周産期母子医療センター」は、県内 4 地域にそれぞれ整備されています。〔表 3-38〕

- 平成27(2015)年の周産期母子医療センターのNICU入院児の居住地をみると、筑後、筑豊の各地域では、福岡地域からの受入が一定程度見られます。また、北九州地域では、福岡地域に加え筑豊地域からの受入も見られます。

また、福岡、北九州の両地域では、県外からの患者の受入が1割以上あり、筑後地域では生活圏や地理的な状況などもあり、2割以上が県外からの受入患者となっています。〔表3-39〕

- NICU病床数は、県内 4 地域とも国の指針におけるNICUの必要数である出生 10,000 人対 25 床から 30 床を確保していますが、他県等からの患者の流入が多い地域や重症患者・難治症例が集中する地域は、その影響によってNICU

に余裕が少ない状況が発生する可能性があります。

- N I C Uに長期入院している児については、N I C U満床による妊婦や新生児の受入困難事例の原因の一つになっていることから、それぞれの児が適切な後方病床や療育環境へ円滑に移行することができる体制づくりが課題となっています。

◆ 福岡県の周産期母子医療センター〔表 3-38〕 (平成 29(2017)年 4 月現在)

地域区分	総合周産期母子医療センター	地域周産期母子医療センター	病床数 (単位: 床)		
			MFICU <sup>19</sup>	NICU	GCU <sup>20</sup>
福岡地域	福岡大学病院 九州大学病院	・独立行政法人国立病院機構九州医療センター ・医療法人徳州会福岡徳洲会病院 ・福岡市立こども病院	20	84	82
筑後地域	久留米大学病院 聖マリア病院		21	45	67
筑豊地域	飯塚病院		6	9	12
北九州地域	北九州市立医療センター 産業医科大学病院	・独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院 ・独立行政法人国立病院機構小倉医療センター	12	60	67
計	7 施設	5 施設	59	198	228

病床数には、周産期母子医療センター以外でN I C Uを保有する病院の病床数を含む。

◆ N I C U入院児の居住地域〔表3-39〕

	居住地域	周産期母子医療センターの所在地域			
		福 岡	筑 後	筑 豊	北九州
入院児数	福 岡	1,006 (84.8%)	57 ( 7.4%)	17 ( 6.3%)	58 ( 5.7%)
	筑 後	18 ( 1.5%)	503 (65.7%)	1 ( 0.4%)	6 ( 0.6%)
	筑 豊	14 ( 1.2%)	3 ( 0.4%)	226 (84.0%)	49 ( 4.9%)
	北九州	11 ( 0.9%)	5 ( 0.7%)	8 ( 3.0%)	768 (75.8%)
	県 外	138 (11.6%)	198 (25.8%)	17 ( 6.3%)	132 (13.0%)
	計	1,187(100.0%)	766(100.0%)	269(100.0%)	1,013(100.0%)
N I C U病床数		84	45	9	60
出生1万人あたり		35	64	27	59

出典:入院児数:平成27(2015)年周産期母子医療センター等活動報告書  
N I C U病床数:医療指導課調べ

<sup>19</sup> MFICU:母体・胎児集中管理室(Maternal Fetal Intensive Care Unit)の略語で、重い妊娠高血圧症候群、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常等ハイリスク出産の危険が高い母体・胎児を治療するための部門。

<sup>20</sup> GCU:回復期治療室(Growing Care Unit)の略語で、N I C Uの後方病床であり、急性期を脱した児を治療する部門。

#### ④ 災害時における周産期医療の提供体制

- 災害時においても、妊産婦や新生児に対して必要な周産期医療が円滑に提供できるよう、国において災害時における小児医療や周産期医療の調整役（災害時小児周産期リエゾン）を養成する取り組みが始まっています。周産期医療（産科及び新生児）を担当する当該リエゾンを中心とした、災害時における周産期医療施設の連携が求められています。

### 【医療機能と医療連携】

#### （１）正常分娩等を扱う機能

- 産科・産婦人科を標榜する地域の病院・診療所等は、妊婦健診を含めた分娩前後の診療や低リスクの妊産婦・新生児の管理に対応するとともに、他の周産期医療機関と連携し、リスクの低い帝王切開術等に適切に対応する機能を担います。  
また、ハイリスク症例を抽出して早期に搬送するなど高度な周産期医療を提供する施設との連携を図ることや、妊産婦のメンタルヘルスケアに対応することも求められています。

#### （２）高度な周産期医療を提供する機能

- 総合周産期母子医療センターは、周産期医療体制の中核として地域周産期母子医療センターや地域の分娩施設等と連携を図り、合併症妊娠、胎児・新生児異常等のリスクの高い妊娠に対する医療や高度な新生児医療に対応するほか、他の関係診療科と連携して産科合併症以外の合併症（脳血管疾患、心疾患、敗血症、外傷、精神疾患等）を有する母体にも対応する機能を担います。
- 地域周産期母子医療センターやこれに準じる病院は、総合周産期母子医療センターや地域の分娩施設等と連携を図り、24 時間体制での周産期救急医療に対応する機能を担います。

#### （３）その他

- 周産期母子医療センター等は、小児科を標榜する地域の病院・診療所や在宅医療を行っている診療所等と連携して、周産期医療施設を退院した医療的ケア児への診療と療養を支援する機能を担います。

### 【今後の方向】

#### （１）周産期医療を取り扱う施設の確保

- 分娩を取り扱う診療所については、病床設置の許可を要しない取扱いを継続するとともに、分娩施設が少ない二次医療圏における分娩施設の施設・設備の整備に対する支援、分娩施設へのアクセスや医師等の確保に取り組むなど、どの地域でも安心して妊娠・出産できる体制の維持・整備に努めます。

- 高度な周産期医療については、県内4つの地域（福岡・北九州・筑豊・筑後）を単位とした現在の医療提供体制の質的向上を図り、地域に必要なNICU等（後方病床であるGCUを含む）の機能が充実されるよう、周産期母子医療センターの運営や施設・設備の整備等に対する支援に努めます。

## （2）機能分担と連携の促進

- 周産期母子医療センター等におけるNICU長期入院児の解消に向けて、在宅医療を担う医療施設、障がい児入所施設及び病院間における体制について検討を進めます。

また、人口に対するNICU病床の数に余裕が少ない福岡地域においては、患者の重症度に応じた受入病院の調整を行い、総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センター等との役割分担を図り、地域全体で高度周産期医療施設の空床確保に取り組みます。

- 総合周産期母子医療センター等における、周産期部門と救急部門等との連携や設備の充実を促すとともに、地域の周産期施設や救急隊等との連携方策について検討を進め、周産期救急体制の充実を図ります。

また、精神疾患合併妊産婦への対応など、妊産婦のメンタルヘルスケアに取り組む関係診療科、関係機関等の連携体制づくりについて検討を進めます。

## （3）周産期医療に関する啓発

- 周産期医療に係る医療資源が効率的に利用され、安心して妊娠・出産ができるよう、妊産婦に対し状態に応じた適切な受診や早期の妊娠届出等について啓発を図ります。

また、母体や新生児の病状に応じて、遠方であってもより適切な医療施設に搬送が行われる場合があることなど、周産期搬送に対する理解促進に努めます。

## （4）医師等の確保対策

- 周産期医療従事者の実数及び勤務環境の把握に努めるとともに、医師の働き方改革の議論の動向も踏まえつつ、医師確保の有効な方策について研究します。

- 分娩手当や新生児手当を支給している医療機関への助成、院内保育所の運営や女性医師の短時間勤務導入の支援を行い、医師等の処遇の改善や周産期医療関係者の仕事と子育ての両立支援を図ります。

産科医や新生児医療担当医について「福岡県地域医療医師奨学金」を活用し、その確保を図ります。

- 周産期医療関係者に対する研修については、必要に応じて改善を図り、特に母体救命法や新生児蘇生法の普及が図られるよう、その充実支援に努めます。

## (5) 災害時の周産期医療対策

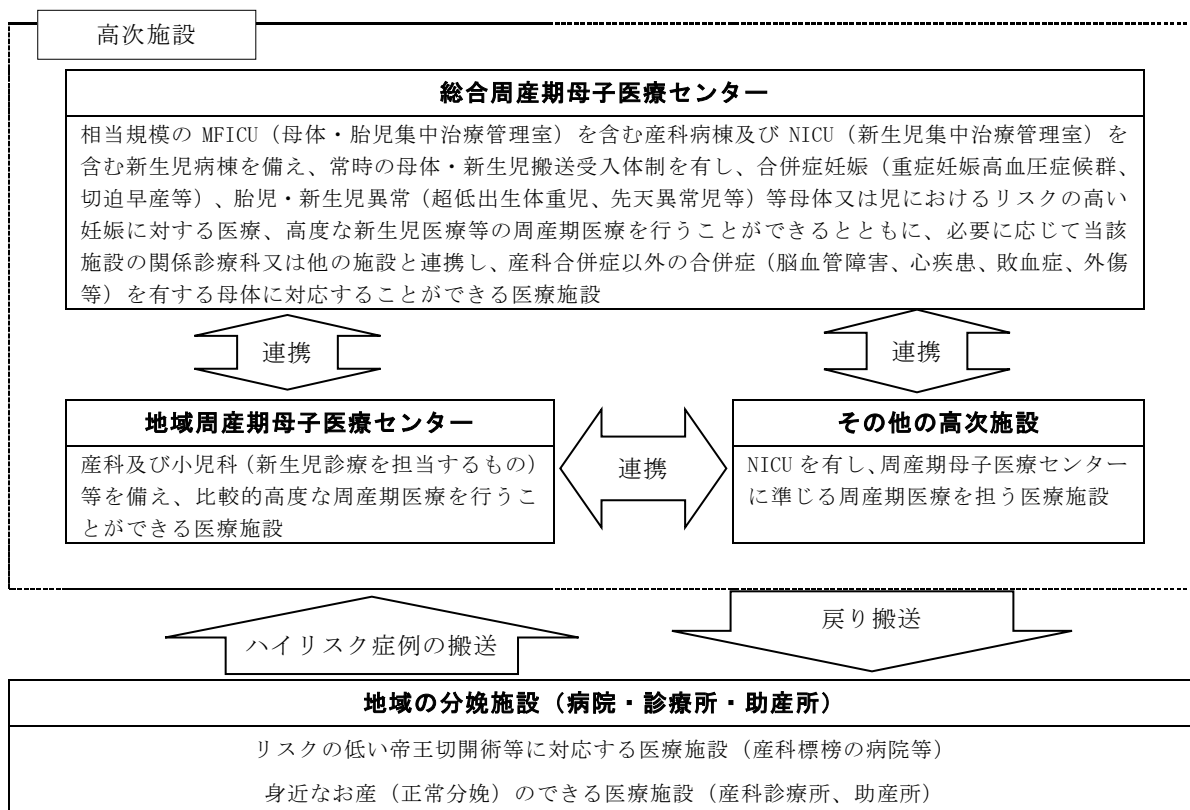
- 救急医療や小児医療など関連領域との連携も踏まえつつ、周産期医療関係者への研修・訓練などを通じて、災害時小児周産期リエゾン（周産期医療担当）を中心とした、災害時における周産期医療ネットワークの構築に取り組みます。

### 【目標の設定】

指 標	現 状 (平成29(2017)年度)	目標値 (平成35(2023)年度)
分娩を取り扱う施設が確保されている二次医療圏数	13 医療圏	13 医療圏
周産期母子医療センターにおける搬送受入不可件数のうちNICU満床に起因する割合	37% (H27)	現状値以下

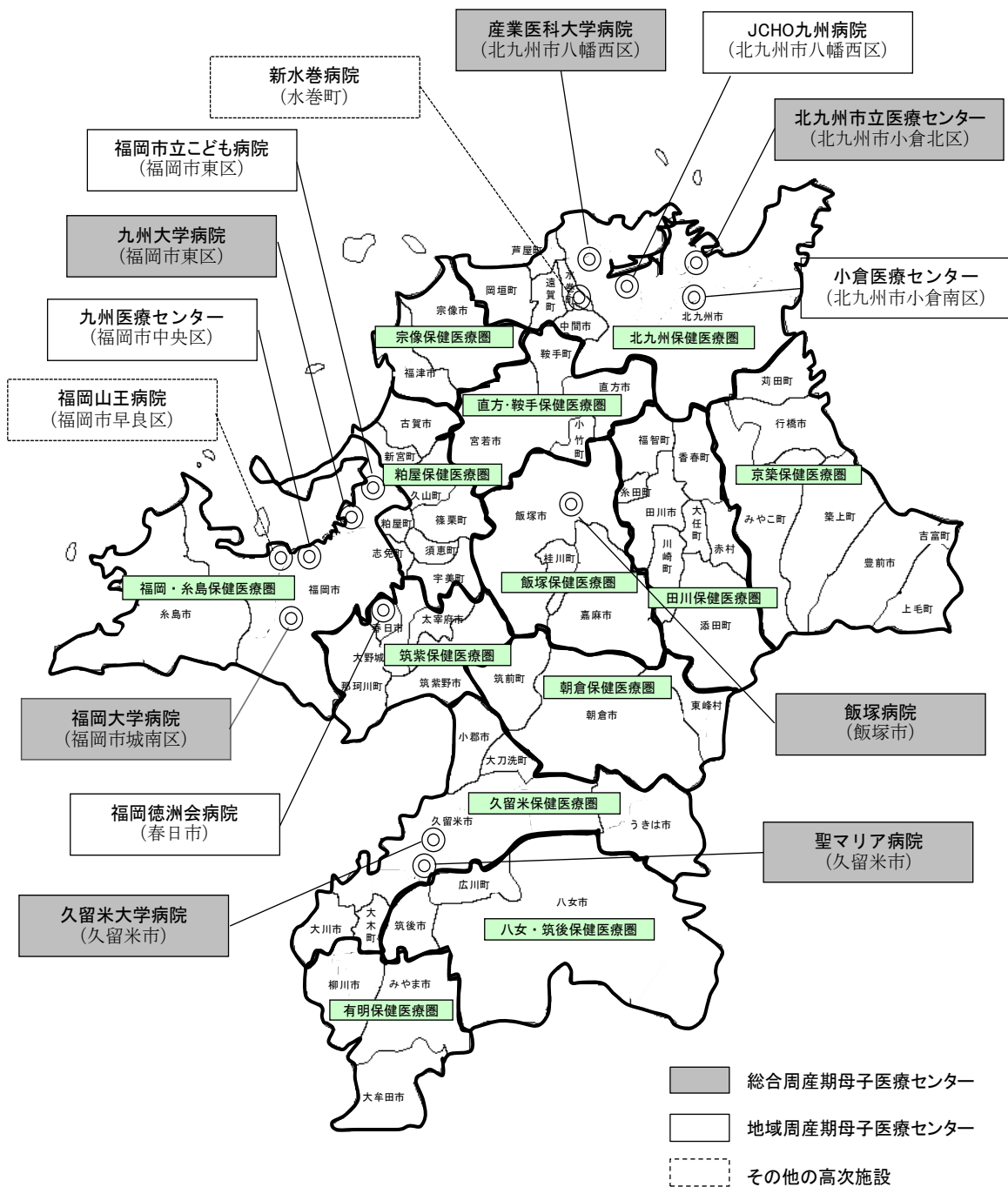
### ◆ 福岡県の周産期医療体制 [図 3-11]

総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター等の高次施設が連携し、地域の分娩施設（病院、診療所、助産所）等からの母体搬送・新生児搬送を受け入れ、高度な周産期医療を提供しています。



※分娩を取り扱う施設は「ふくおか医療情報ネット (<http://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/>)」に掲載しています。

◆ 福岡県の周産期母子医療センター等 [図 3-12]



## (9) 周産期医療

番号	指標名	単位	全国	福岡県	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	調査名等	調査年	
	人口	千人	128,226	5,120	1,586	284	156	436	88	463	136	230	187	112	133	1,117	191	住民基本台帳	H27.1.1	
			127,907	5,126	1,615	288	159	439	87	462	134	224	184	110	130	1,104	190	住民基本台帳	H29.1.1	
I-1	産科医及び産婦人科医の数	人	11,349	488	186	17	12	20	2	82	8	14	20	2	8	114	3	医師・歯科医師・薬剤師調査	H28	
		人口10万対	8.9	43.2	47.9	22.2	19.0	19.0	11.9	77.6	34.1	38.1	46.0	9.8	37.8	53.8	5.5			
I-2		出産千対	*	10.6	12.2	4.6	4.5	4.4	2.9	18.7	8.0	10.8	10.5	2.3	8.6	13.6	1.2			
I-3	分娩取扱施設に勤務する産科医及び産婦人科医の数(常勤換算)	診療所	人	2,259.2	137.5	41.9	11.0	5.9	15.0	2.0	17.8	5.0	5.0	4.0	1.0	-	24.4	4.5	医療施設調査	H26
			人口10万対	1.8	12.4	10.7	17.5	18.7	15.0	11.9	189.2	18.9	11.9	11.5	4.9	-	10.8	12.3		
I-4		病院	人	6,317.2	201.3	80.7	4.5	3.0	4.0	-	25.4	4.0	4.0	8.1	-	9.2	58.4	-	医療施設調査	H26
			人口10万対	4.9	18.2	20.7	7.1	9.5	4.0	-	25.9	15.1	9.5	23.3	-	38.7	25.9	-		
I-5	助産師数(常勤換算)	診療所	人	4,957.7	361.8	125.0	29.3	22.2	43.5	4.5	34.1	4.3	14.3	3.6	1.0	-	66.7	13.3	医療施設調査	H26
			人口10万対	3.9	32.6	32.0	46.5	70.4	43.4	26.8	34.8	16.3	34.0	10.4	4.9	-	29.6	36.4		
I-6		病院	人	18,223.6	558.6	207.5	9.9	6.2	18.0	-	76.0	21.0	-	40.2	-	29.0	150.8	-	医療施設調査	H26
			人口10万対	14.2	50.4	53.1	15.7	19.7	18.0	-	77.6	79.5	-	115.7	-	121.9	67.0	-		
I-7	助産師数	人	33,956	1,323	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	衛生行政報告例	H26
		人口10万対	125.7	119.3	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
I-8	分娩を取扱う産科又は産婦人科病院数	人	1,055	34	11	1	1	1	-	3	2	1	2	-	2	10	-	医療施設調査	H26	
		人口10万対	0.8	3.1	2.8	1.6	3.2	1.0	-	3.1	7.6	2.4	5.8	-	8.4	4.4	-			
I-9	分娩を取扱う産科又は産婦人科診療所数	人	1,308	88	24	5	4	7	1	14	3	5	2	1	-	18	4	医療施設調査	H26	
		人口10万対	1.0	7.9	6.1	7.9	12.7	7.0	6.0	14.3	11.4	11.9	5.8	4.9	-	8.0	11.0			
I-10	出生率	人口千対	8.0	9.0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	人口動態調査	H27
I-11	合計特殊出生率		1.5	1.5	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	人口動態調査	H27
I-12	低出生体重児出生率(2,500g未満)	%	9.5	9.9	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	人口動態調査	H27



## (9) 周産期医療

番号	指標名	単位	全国	福岡県	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	調査名等	調査年	
	人口	千人	128,226	5,120	1,586	284	156	436	88	463	136	230	187	112	133	1,117	191	住民基本台帳	H27.1.1	
			127,907	5,126	1,615	288	159	439	87	462	134	224	184	110	130	1,104	190	住民基本台帳	H29.1.1	
I-13	分娩数(帝王切開件数を含む)(9月中の実施件数)	診療所	件	38,765	2,587	765	118	123	272	53	289	100	144	67	38		495	123	医療施設調査	H26
		人口10万対	1.0	233.3	195.9	187.3	389.9	271.6	316.0	295.2	378.4	342.8	192.8	186.9			219.9	33.0		
I-14	病院	件	46,451	1,622	349	49	6	41		663	14	22	103		63	312		医療施設調査	H26	
		人口10万対	36.3	31.6	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*			*
I-15	新生児死亡率(生後28日未満)	出生千対	0.9	1.0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	人口動態調査	H27
I-16	周産期死亡率	出生千対	3.7	3.9	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	人口動態調査	H27
I-17	妊産婦死亡率	出産10万対	3.8	2.2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	人口動態調査	H27
I-18	乳児死亡率	出生千対	1.9	2.2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	人口動態調査	H27
I-19	幼児死亡率	5歳未満人口千対	0.5	0.6	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
I-20	死産率	出産千対	22.0	25.1	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
I-21	NICUを有する病院数・病床数	病院数	施設	330	14	5	-	-	1	-	2	-	1	-	-	5	-	医療施設調査	H26	
		人口10万対	0.3	0.3	0.3	-	-	0.2	-	0.4	-	0.5	-	0.4	-	0.4	-			
I-22	病床数	床	3,052	192	57	-	-	18	-	45	-	9	-	63	-	63	-	医療施設調査	H26	
		人口10万対	2.4	3.8	3.6	-	-	4.1	-	9.7	-	4.8	-	5.6	-	5.6	-			
I-23	MFICUを有する病院数・病床数	病院数	施設	110	7	2	-	-	-	2	-	1	-	2	-	2	-	医療施設調査	H26	
		人口10万対	0.1	0.1	0.1	-	-	-	-	0.4	-	0.5	-	0.2	-	0.2	-			
I-24	病床数	床	715	52	13	-	-	-	-	21	-	6	-	12	-	12	-	医療施設調査	H26	
		人口10万対	0.6	1.0	0.8	-	-	-	-	4.5	-	3.2	-	1.1	-	1.1	-			
I-25	NICU入室児数	人	68,838	4,155	1,476	-	-	516	-	386	-	244	-	1,533	-	1,533	-	医療施設調査	H26	
		人口10万対	53.8	91.9	96.8	-	-	120.5	-	95.2	-	160.4	-	172.2	-	172.2	-			
I-26	ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数	施設	705	22	7	1	-	1	-	2	1	1	1	-	2	6	-	診療報酬施設基準	H28.3.31	
		人口100万対	0.6	2.0	1.8	1.6	-	1.0	-	2.1	3.9	2.5	2.9	-	8.8	2.7	-			

(9) 周産期医療

番号	指標名	単位	全国	福岡県	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	調査名等	調査年	
	人口	千人	128,226	5,120	1,586	284	156	436	88	463	136	230	187	112	133	1,117	191	住民基本台帳	H27.1.1	
			127,907	5,126	1,615	288	159	439	87	462	134	224	184	110	130	1,104	190	住民基本台帳	H29.1.1	
I-27	身体障害者手帳交付数 (18歳未満)	交付数	人	103,969	3,922	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	福祉行政報告例	H27
		人口 10万人対	人	81.3	76.5	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
I-28	母体・新生児搬送数	件	46,589	2,781	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査・周産期医療体制調	H26
I-29	母体・新生児都道府県内搬送率	率	1.0	0.9	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査・周産期医療体制調	H26
I-30	医療機関に受入の照会を行った回数が4回以上の件数	件	549	15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	H27
		人口 10万人対	人	2.1	1.4	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		*
I-31	現場滞在時間が30分以上の件数	件	1,194	13	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査	H27
I-32	NICU・GCU長期入院時数	人	614	32	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	周産期医療体制調	H26
I-33	新生児の産後訪問指導を受けた割合	出生千対	243.1	153.9	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	地域保健・健康増進事業報告	H26
I-34	未熟児の産後訪問指導を受けた割合	出生千対	54.1	44.2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	地域保健・健康増進事業報告	H26